

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105735
法人名	株式会社 ツクイ
事業所名	ツクイ松山南江戸グループホーム
所在地	松山市南江戸2-1-29
自己評価作成日	平成26年3月5日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年3月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個々の身体能力に応じた機能訓練を実施しています。主に、生活動作機能に重点を置き、理学療法士にアドバイスを受けながら実施しております。また個別対応の時間を日々設けており、アセスメントや満足度向上に努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は町内会に加入しており、秋祭りには子供神輿運行の見守り役として職員数名が協力された。事業所に神輿が入った際、利用者は知人と出会うような場面もあり、交流もできてとても喜ばれたようだ。夏に開催した事業所主催の「サマーフェスタ」や開設記念イベントの開催を重ねることで、地域との関係をつくっておられる。7周年の今年は、もちまきと炊き出しの豚汁を参加者に振る舞われた。利用者の希望で、以前、勤めていた会社を訪問した際には、ご本人はとても懐かしがられ、「だいが変わったな」と、感想を話されたようだ。「家に帰りたい」とよく言われる方には、毎月一回、職員が送迎してご自宅に戻り、過ごす時間をつくっておられる。ご自宅では奥様と一緒に食事をしたり、ご自分の部屋で新聞を読んだり、入居前と同じように過ごされるようだ。ご家族がご自宅で可愛がっていた犬を連れてきてくれて、居室で犬とひととき過ごす方もおられる。亡くなった利用者の葬儀や法要に、親しかった他利用者が出席することもある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 ツクイ松山南江戸グループホーム

(ユニット名) みかん

記入者(管理者)  
氏名 武智 広樹

評価完了日 平成26年3月5日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 朝の申し送り時に、職員が考案した理念と行動指針を1日1 回読み上げて実践に努めている。	
			(外部評価) 一昨年、職員全員で話し合いつくった「十人十色 様々な人 生に沿った自立支援」という事業所理念は、「行動指針6項 目」とともに、各ユニットの居間や事務所等の目につく場所に 掲示し、朝礼時に唱和されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 近隣のスーパーへの買物や、散歩に行っている。 地域の防災訓練や秋祭りに参加している。	
			(外部評価) 事業所は町内会に加入しており、秋祭りには子供神輿運 行の見守り役として職員数名が協力された。事業所に神輿が 入った際、利用者は知人と出会うような場面もあり、交流もで きてとても喜ばれたようだ。地域の運動会に応援に行かれた り、文化祭時には利用者の砥部焼の絵付け作品を展示し、 見学にも出かけられた。夏に開催した事業所主催の「サマ ーフェスタ」や開設記念イベントの開催を重ねることで、地域 との関係をつくっておられる。7周年の今年は、もちまきと炊 き出しの豚汁を参加者に振る舞われた。散歩時、近所の方 に声を掛けてもらうことが多くなり、管理者は今後さらに、「地 域の方が散歩の途中で立ち寄ってくれるような、普段のおつ きあいも深めていきたい」と話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 地域貢献は不十分。 現在、考案中。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			事業所でのイベント等を報告し、意見を取り入れるよう努めています。	
			(外部評価)	
			会議には、民生委員や地域の方等が参加しており、活動状況や今後の予定について報告した後、意見交換されている。又、今年度より採り入れた共用型デイサービスについても説明したり、利用者の話相手の募集をお願いされている。現在は、事情等もあり、ご家族には案内をしていない。	サービスを利用する利用者やご家族の参加についても、時期を見ながら配慮や工夫をしてすすめていかれてほしい。事業所のケアサービスについて、地域のいろいろな方に知ってもらい、意見や要望をうかがいながら取り組みをすすめていかれてほしい。管理者は、今後さらに、「タイムリーなテーマを取り上げ話し合いたい」と考えておられた。
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
			運営推進会議に参加して頂いている。	
			(外部評価)	
			運営推進会議時、「機能訓練の実施例や効果」について報告した際には、地域包括支援センターの担当者の方から「散歩の取り組み等とても良い」と感想をいただいた。市の担当者からは、時期に応じて熱中症や感染症の予防についての説明がある。以前、相談した事例については、経過を気にかけて聞いてくださり、心強く感じておられた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			身体拘束廃止委員会を設置し、月に1回会議を行い、身体拘束ゼロに向けて取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			毎月「身体拘束廃止委員会」を実施し、身体拘束をしないケアに向け話し合い、実践に向けて努力をされている。委員会メンバーは、3ヶ月毎に交代して数名で構成されている。2年前から継続してベッド柵をしないケアへの取り組みをすすめておられ、今年度は残りの一名の方の事例について検討を重ね、ベッド柵0を達成された。事業所の玄関は自動ドアで、各ユニットの入り口は、外から入際のみ暗証番号を入力して開けるようになっている。ご家族には、暗証番号を事前に知らせている。外に出たい利用者の様子が見られる時には、職員と一緒に散歩や買物に連れ出し、気分転換を図れるよう支援されている。	管理者は、玄関の施錠について、「職員の手薄な時間はしかたがないが、食事やレクリエーション時には開錠して様子を見て行きたい」と話しておられた。利用者の安全で安心な暮らしの環境作りに向けて、施錠のあり方や弊害について何度も話し合い、ケアに工夫を重ねていかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  定期的に研修を行い、虐待防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在、該当者はいないが今後制度への理解を深める為に勉強していきたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時には十分な時間をとり、丁寧な説明を行っている。また、いつでも相談しやすいよう声掛けするよう努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  会社で満足度調査を行っている。  (外部評価)  毎月発行している事業所便り「みなみかぜ」にて、行事や外出時の写真等を載せて報告されている。又、来月の予定やスタッフ紹介、さらに、利用者毎に、「〇〇様の今月のご様子」の欄に職員が手書きして、ご家族に送付されている。制度改正等があった場合には、管理者がご家族毎に電話等で説明を行い、理解を求めようになっている。「家族会」は、年2回、「サマーフェスタ」と「クリスマス会」の行事と併せ、実施しておられる。クリスマス会時には、17名のご家族が参加され、一緒に食事をしながら親睦を深められた。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			定期的にかンファやミーティング、面談を実施し意見や要望を聞いている。	
			(外部評価)	
			現場の問題を早期に解決できるよう、ユニット毎にケアマネジャーとリーダーを配置し、体制を整えておられる。又、職員の休憩時間の確保や夏・冬季の連続休暇を取得し、リフレッシュできるようにして働きやすい職場環境作りにも取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年に一度の昇給あり(条件有り)。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修機会を設けて、人材育成に努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			交流できていない。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			アセスメント時に、不安や要望を聞き取りし計画書に反映させ関係作りに努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
60		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者・計画作成にて事前訪問を行い、ヒアリングを実施。疑問や不安については、しっかりと回答するよう努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 職員全員で集中的に多角的な目線でアセスメントを行いニーズ把握に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ご本人の趣味・嗜好・ADLに合わせた計画書を作成しサービスに反映させている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人と家族の要望をすり合わせ、ご家族と外出や食事をしたり、一時帰宅を実施できるよう支援している。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの場所への外出は実施できているが、ご友人達との交流支援は出来ていない。  (外部評価) 利用者からご家族へ年賀状や暑中見舞いを出せるよう、支援されており、ご家族にも喜ばれている。利用者の希望で、以前、勤めていた会社を訪問した際には、ご本人はとても懐かしがられ、「だいぶ変わったな」と、感想を話されたようだ。「家に帰りたい」とよく言われる方には、毎月一回、職員が送迎して、ご自宅に戻り、過ごす時間をつくっておられる。ご自宅では奥様と一緒に食事をしたり、ご自分の部屋で新聞を読んだり、入居前と同じように過ごされるようだ。ご家族がご自宅で可愛がっていた犬を連れてきてくれて、居室で犬とひととき過ごす方もおられる。亡くなった利用者の葬儀や法要に、親しかった他利用者も出席することもある。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) レクリエーション・クラブ活動や外出を通して関わりが持てるケアを実践している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス終了後の支援はなし。	
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個別対応にて1対1の時間を作り、意向の把握に努めている。またひもときシートを活用し、本人目線でケアできるよう取り組んでいる。 (外部評価) 今年度から新しい取り組みとして、利用者のお好きなことや得意なことが発揮できる場を、「クラブ活動」として採り入れられた。料理、絵手紙、生け花、菜園作り等をつくり、一人ひとりが生きがいを見つけたり楽しめるよう支援されている。調査訪問時には、塗り絵が好きな方がシルバーカーに乗せている作品を「私が塗ったのよ」と見せてくださった。利用者同士の関係が上手くいかない時には、利用者ひとりの時間を持てるよう支援したり、職員が納得いくまでお話を聞くようにされている。意志表出が難しい方には、ご家族の話題等でお話して、表情等をみながら気持ちを汲み取るようにされている。	現在、ケアマネジャーは、これまでのアセスメントで得た情報をもとに、利用者一人ひとりの生活歴や以前の暮らしぶりをまとめることを始めておられる。情報をもとに、資源を活かして利用者個々のその人らしい暮らしの支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 関係者からヒアリングを行い、把握できるよう努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 関係者からヒアリングを行う。また、アセスメントを行い把握に努めている。	



## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			月2回のカンファにて話し合いを行い、また家族様の意見も反映させながら計画書を作成している。	
			(外部評価)	
			利用者やご家族の希望を聞き取りながら、「夢を叶える介護計画」の作成に努めておられる。利用者が「北海道の孫に会いたい」と希望されていることを受け、ご家族と話し合い、「家族と北海道旅行をして孫に会う」ことを目標に、「しっかり歩けるように機能訓練を積み重ねる」ことや「洗濯を自分でする」、「合唱、塗り絵、おしゃべり等好きなことをして楽しむ」ことを計画内容に採り入れ、目標達成に向け支援されている事例がある。3ヶ月毎にモニタリングして計画を見直すようになっている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			介護記録に短期目標を入れて日々確認し、定期的に見直している。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人様や家族様より要望があった場合は可能な範囲で取り組んでいます。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			日々、散歩や買物を取り入れ地域に出ている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			週に1度の往診実施と必要に応じて、家族・事業所・医師での話し合い場を設けながら支援しています。	
			(外部評価)	
			毎月、理学療法士が来られ、歩行や座位保持を生活の中で無理なく行えるよう指導してくれている。ご家族と協力しながら協力医院を毎週受診し、機能訓練を続けることで歩くことができるようになった方もいる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			個人ごとの1週間のバイタルチェック表を活用し、看護師と連携しながら体調管理に努めている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	
			定期的に訪問し、ご家族から状況を把握できるよう努めています。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			事前にご家族様から意向を聞き取りし、医師と話し合い共有し支援している。	
			(外部評価)	
			入居時、「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し、ご本人やご家族の意向を確認しておられ、現在は、ほとんどのご家族が、「お任せします」と言われるようだ。利用者の状態変化時に再度意向をお聞きし、ご家族と協力しながら支援できるよう取り組まれている。今年度は看取りの事例はないが、以前の事例等を用いて対応を検討等されている。現在、「緊急時対応マニュアル」の作成を進めておられ、管理者は今後、「職員の知識の共有化を図りながら、さらに体制を整えていきたい」と話しておられた。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルを周知している	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2階の防災訓練を実施し、1回は地域との合同で行っている。	
			(外部評価) 11月の消防立会の訓練時には、起震車の体験や車いすや徒歩の利用者を避難誘導する訓練が行われた。事業所が所在する地域は、自主防災組織の体制が整っており、緊急時には事業所に設置しているサイレンを鳴らすと、「近隣協力員」が駆けつけてくれるようになっている。地域の防災訓練時には、協力員と一緒に、利用者を近くの避難場所まで誘導する訓練が行われた。運営推進会議時に防災活動について報告した際には、地域の方達に夜間の火災時の応援をお願いし、さらに事業所も地域への支援体制を整えていくことを伝えられた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 生活歴を職員が共有し、その都度適切な声掛けや対応をするよう努めている。	
			(外部評価) 事業所の6つの行動指針の中には「同じ目線で声掛けします」「不快に感じる言葉は使いません」とあるが、管理者は、「親しさゆえに慣れ合いになる時もある」と感じており、カンファレンス時には、職員個人の問題として捉えず、職員全員に話をするようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個別対応の時間を設け、ゆっくりと時間をかけてヒアリングできるように努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 生活歴に沿った計画書を作成し、本人のペースに合った生 活を支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) お客様が好みの洋服を選べるよう、支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 週に1回、料理クラブを実施しお客様と一緒に準備を行う時 間を設けている。 (外部評価) 業者が立てた献立で食材とレシピが届き、職員が食事作りされてい る。味付けは、利用者の声を反映して好みの味になるよう、加減し ておられる。事業所の畑で収穫した、なすびやプチトマト、大根も 食材として利用し、特に豊作だったきゅうりはぬか漬けにして何度も 食卓に上ったようだ。食事介助の必要な方には、食材や献立の説 明をしながら、興味を持って食べてもらえるよう支援しておられた。 高さを調節できるテーブルや手作りの足置きで、姿勢等にも気を付 けておられる。週1回「お料理クラブ」の日を設け、利用者と昼食を 手作りしており、ロールキャベツやお好み焼き、雛ちらし等、お好 きなものが食べられるよう支援されている。駐車場では、ウナギの蒲 焼や秋刀魚の塩焼きを焼いたり、バーベキュー等を楽しまれる。管 理者がこだわりの魚屋でネタを仕入れて握るにぎり寿司は、皆の楽 しみとなっており、いつもより食欲も増すようだ。毎月2回、「おやつ 作りの日」を設けておられ、又、時には宅配ピザをとったり、移動パ ン屋さんのパンを買っておやつにされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 主治医と相談しながら食事等を提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後、声掛けを行い必要に応じた支援をしている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			必要に応じて、排泄チェック表を使用し排尿パターンを把握し、支援している。	
			(外部評価)	
			そわそわしたり、身体を動かして落ち着かない等のトイレのサインを見逃さず、声かけて支援されている。さきさき声かけするのを嫌がる方には、「どうしたいのか」ご本人の気持ちを優先して支援することに心がけておられる。寝たきりの状態になっていた方について、理学療法士の指導のもと、運動したり手すりを使いながら訓練する等、職員で統一した支援を行い、トイレに座って排泄できるよう、状態が改善されたような事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			体操を取り入れたり、寒天やヨーグルト・ヤクルトを提供し予防に取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			本人の希望や体調に合わせ、入浴サービスを実施している。入浴剤等使用し、楽しめるよう支援している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			午前中、週2～3回入浴を支援されている。利用者によっては、入浴の順番にこだわったり、同性介助や「相性の良い職員に担当してほしい」と希望する方もいる。現在、1階ユニットの利用者は介護度が高く、午前中ゆっくり入浴できるよう支援し、昼食時間を少し遅らせる場合がある。入浴を断る方には、脱衣所までお誘いしてから声かけて支援すると入浴につながるようだ。浴槽のお湯を怖がるような方もおられるが、無理強いせず、足浴しながらシャワーをかけて支援されている。	
			(外部評価)	
			本人の希望や体調に合わせ、入浴サービスを実施している。入浴剤等使用し、楽しめるよう支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			身体状況に合わせて、臥床時間を設けている。	
			(外部評価)	
			身体状況に合わせて、臥床時間を設けている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬チェック表による薬の把握。薬情報ファイルにて効果・副作用の確認が出来るよう整備。職員の理解は不十分。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 掃除や家事、趣味活動を行い支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望に沿ってドライブや散歩に行っている。また月に一度外出行事を企画し実施している。	
			(外部評価) お誕生日の月には、職員が一对一で個別の希望に沿って外出等を支援されている。外食を希望する方が多く、近くにある回転寿司や豆腐懐石の和食店に出かけたこともある。夏季の暑い時期を除いて、毎月計画を立て、又、日々の会話から希望をうかがい外出されており、飛行場の展望台で飛行機の離着陸を見たり、産直市や大型ショッピングセンターでの買い物、坂の上の雲ミュージアム見学等、趣向を変えて様々などところに出かけておられる。ドライブがてら季節ごとに梅や桜を楽しみに出かけておられ、松山総合公園でのお花見時にはおやつを持って出かけられた。出かける前は気の向かない方もあるが、出かけると楽しめるようだ。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご家族様とも相談し、立替金にて買物を支援している。個別に管理している方は希望に応じて買物を支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に沿って電話をしている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	<p>季節感を感じれるように月に1度、担当者がお客様と一緒に製作したり、飾り付けを実施している。</p> <p>玄関の靴箱には利用者の氏名を示し、個々にご自分の靴をしまっておられる。各ユニットの入り口には、今日勤務の職員の写真と氏名、又、今月の行事が掲示されている。居間には、日付や曜日を大きく示した手作りカレンダーも掛けておられた。一角には小上がりの和室のスペースがあり、障子を閉めてひと休憩できるスペースとなっている。又、居間から見える庭には、職員が手作りした池にメダカが泳ぎ、満開の桜の木や皆で手入れしている畑がある。調査訪問時には、廊下の手すりを持って歩行練習をしている方がみられ、毎日、自主的に行っておられるようだ。</p>	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)		
			好きな場所で過ごせたり、馴染みの関係を続けれるよう配慮している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
					ご家族様と相談し、使い慣れたものを使用できるよう支援している。
			(外部評価)		
			ご家族と相談しながら、居室をしつらえておられる。レクリエーションの生花クラブで活かしたお花は、ご自分の居室に飾って楽しめる。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
					ヒヤリハットを活用し、安心・安全な環境づくりに努めている。